

俗名・長左衛門 八世政義履歴草稿

天保五年午年九月五日ヲ以ッテ津二番町ニ生ル

八歳ニシテ母ヲ喪ヒヌ 九歳ニシテ亦父ヲ喪フ

幼童ニシテ 双親ト死スルノ不幸之レヨリ大ナルハ莫シ

是ノ時ニ当テ祖父ノ年七旬ヲ過ルト雖ドモ

幸ニ死未タシ然リト雖ドモ

我年少ニシテ一戸ヲ維持スル能ズ

茲ニ於テ邸地ヲ奉還シ

翌年五月祖父翁ニ從フテ

亡父ノ弟山崎叔父ノ家ニ同居ス

又茲ニ弟見 直三郎アリ

歳僅カニ二托シテ 亡父ノ妹婿山岡直清氏ノ介抱ヲ受ク

去年父没スルノ際ニ臨ニテ上表

故ニ、跡目相統祿 故ノ如ク百二十石ヲ賜フ

嘉永三年 歳十有七歳 職ヲ馬医見習ニ拜ス

同年四月江都ニ出テ

幕臣落合氏ノ門ニ入り

研究スル事累年果シテ該門ノ奥伝ヲ受ケ

夫レノ賞トシテ金ヲ賜フ

同年馬医本役ノ命ヲ拜ス

是ヨリ先キ 嘉永三年六月終ニ祖父卒ス 年八十有二吾
始テ嘉永三年馬医見習ノ命ヲ受ケシヨリ

明治二年藩治改革ノ際ニ至ルマデ馬医ヲ勤ムル事二十年
此ノ年間一時馬殺 加役 一時大小姓加役 一時組士加役
其他將軍家工ノ使者等ヲ勤ム

又 主君ノ供奉 或ハ江府諸勤番 殆ド十度ニ及ブ

亦各地出張数度ニシテ 終ニ東征ノ役ニ至ル
枚拳スルニ遑非ラズ

其都度且少廉毎賞トシテ 金ヲ賜フ事屢ナリ

東征鎮定ノ際 凱勝賞トシテ絹服及ビ金若干ヲ賜フ

是ヨリ先キ安政元寅年丸ノ内ニ於テ

仮ニ官有ノ長屋ヲ恩借シ 再ビ門戸ヲと張ル事ヲ得タリモ
兄弟トモ山崎山岡ニ氏ノ恩護ヲ受ケル事

實二十一年、將ニ少年ヨリ壯年ニ至ル

又 氏ヲ藩校ニ学ブ

就中 柔 劔 馬ノ三術ニ於ケル各伝ヲ受ク

明治二年藩政改革ノ時ニ当リ

馬職ヲ転ジテ士隊分隊長ニ拜ス

同三年五月更ニ命ヲ士隊半隊長ニ発席サル

同年十一月朝上日ノアルニ由リ 士隊解隊トナル

同十二月解隊ノ事ニ因テ 藩ニ内変ヲ生ズ

是ノ時 主君ヨリ 直ニ内命ヲ受ケテ

鎮撫ノ事ヲカム賞トシテ金ヲ賜フ

同月鎮定ノ后于 更ニ常備兵ヲ編製アリ

是ノ時 命ヲ一等半隊長ニ拜ス

同五年一月廢藩置県ノ際に当リ 常備兵解隊トナル

同月安濃津県警備掛ヲ拜命ス

同年四月県庁ヲ三重郡ニ移シ号シテ 三重県ト称ス

是ノ年五月警備掛リ解職トナル

同六月副戸長ヲ拜命ス 疾ヲ以テ辞ス

同六年二月公立安濃津学業目付役ニ傭ル

同八年七月ニ至ルマデ務

同月師範学校ヲ安濃津ニ開設アリ

其時該饗舎長ヲ拜命ス

同九年九月転ジテ文字区取締役ニ任セラル

同十二年三月区画改正ノ際 学区取締役ヲ

嘉永三年旧藩馬医役ニ就テヨリ

今明治十二年学区取締役解職ニ至ルマデ

三十年間ニシテ

非役ニ在ル事僅二年半微力ナル者ニシテ謂ツベシ 僥倖ト

明治十三年一月